FUJIFILM

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	ZE 720
用途	UV硬化型インク用プライマー
会社名	富士フイルム株式会社
住所	〒107-0052　東京都港区赤坂9-7-3
担当部門	富士フイルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社 技術三部
電話番号	03-6419-0540
ファックス番号	03-6419-9840
緊急連絡先	(財)日本中毒情報センター（事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る）
電話番号	中毒110番(無料)：大阪　072-727-2499(24時間) つくば　029-852-9999(9時～21時)
整理番号	IN790202G

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	生殖細胞変異原性	区分1B
	発がん性	区分1B
	吸引性呼吸器有害性	区分1

＊危険有害性の大きさ:区分は数字の小さいほど危険性／有害性が高い。

＊上に記載がない危険有害性は、「分類対象外」または「分類できない」である。

GHSラベル要素

絵表示

注意喚起語　危険

危険有害性情報

引火性液体および蒸気。(区分3)
遺伝性疾患のおそれ。(区分1B)
発がんのおそれ。(区分1B)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。(区分1)

注意書き

安全対策　使用前に取扱説明書を入手すること。すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。静電気の放電防止策を施す。防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。火花を発生させない工具を使用すること。容器を接地すること/アースをとること。容器を密閉しておくこと。指定された個人用保護具を使用すること。保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置　暴露又は暴露の懸念がある場合:医師の診断／手当てを受けること。飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。皮膚(または髪)に付着した場合:汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

保管　換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄　内容物/容器を現地/地域/国/国際法律に従って処理する。

国/地域情報　「15. 適用法令」の項　参照

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号 化審法	官報公示整理番号 安衛法	含有量 (%)
石油ナフサ【安衛通知】	64742-95-6	9-2578		50 - 100
ポリマー	------	登録済		0 - 10

※ 原則として1%以上含有する成分を記載しています。
注: 化学物質名称の後の【】の中に以下の情報を記載しています。(記載のない場合は非該当です。)
「PRTR 特1」は、化学物質管理促進法 特定第一種指定化学物質
「PRTR 1」は同法　第一種指定化学物質
「PRTR 2」は同法　第二種指定化学物質
「安衛通知」は労働安全衛生法の通知対象物を指します。
なお、化学物質管理促進法に該当する物質の場合、同法別表中の政令番号を併記しています。

4. 応急措置

吸入した場合　空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

目に入った場合　水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズをしていて容易に取り外せる場合は取り外す。刺激が強まったり続く場合には医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合　口をすすぐこと。吐かせないこと。吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。直ちに医師に連絡すること。大量に飲み込んだ場合は、直ちに医師に連絡する。不快感が続く場合は医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護　救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤　粉末消火剤、泡、二酸化炭素、水霧

使ってはならない消火剤　棒状水

特有の消火方法　消火作業は、可能な限り風上から行う。漏出した物質や消火用水等が、河川等に排出されないように配慮する。関係者以外は速やかに安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護　消火作業では、適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置　作業の際には適切な保護具を着用する。(「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照)

環境に対する注意事項　薬品が河川等に排出されないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材　すべての着火源を取り除く(その場での喫煙、炎、スパークまたは火炎は禁止)。可燃性物質(木材、紙、油など)を流出物から遠ざける。大量の漏出 リスクを伴わずに可能なら、物質の流れを遮断する。可能な場合は漏出物をせき止める。プラスチックのシートで覆い、拡散を防止しなければならない。バーミキュライト、砂、土などの不燃性物質を用いて製品を容器に吸収し、後で廃棄する。製品回収後、その付近を水で洗い流す。少量の漏出 漏出物を不燃性吸収剤で吸収する。残った汚染を取り去るには、床を徹底的に清掃すること。回収したものの使用を避けるために、製品の容器に戻してはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策　皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。取り扱った後、手を洗うこと。

局所排気・全体換気　適切な換気がされている場合のみ使用する。

注意事項　裸火、熱源または発火源の近くで、取り扱ったり、保管したり、開けてはいけない。直射日光に当てないようにする。禁煙 静電気の放電防止策を施す。「8. 暴露防止及び保護措置」の項 参照

安全取扱い注意事項　取扱い後は手をよく洗うこと。「10. 安定性及び反応性」の項　参照　その他、消防法の定めるところに従う。

保管

適切な保管条件　日光から遮断すること。容器を密栓しておくこと。消防法の定めるところに従う。

安全な容器包装材料　十分な強度を有するプラスチック容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策　換気を十分に行う。近くに水道および洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具　適切な呼吸用保護具を着用する。

手の保護具　適切な手袋を着用する。

目の保護具　眼の保護具を使用する。飛散の危険 がある場合はフェースシールドを着用する。

皮膚及び身体の保護具　適切な保護衣を着用する。

適切な衛生対策　使用中は飲食や喫煙をしない。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。

9. 物理的及び化学的性質

外観

形状　液体.

色　無色

臭い　薬品臭

pH　該当せず

融点・凝固点　データなし

沸点、初留点と沸騰範囲	162 ° C (323.6 ° F)
引火点	48.00 ° C (118.40 ° F)
自然発火温度(発火点)	データなし
燃焼範囲－下限(%)	該当せず
燃焼又は爆発範囲－上限	該当せず
蒸気圧	3 hPa
蒸気密度	データなし
比重(相対密度)	データなし
密度	0.87 g/cm³
溶解度 (対水)	0.05 g/l
n-オクタノール／水分配係数	データなし
分解温度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	なし
避けるべき条件	熱、スパーク、炎。直射日光を避ける。アルカリ、強い酸や熱を避ける。酸化剤との接触を避ける。過酸化物との接触。
混触危険物質	なし
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、炭酸ガス

11. 有害性情報

皮膚腐食性/刺激性	データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし
発がん性	IARC(国際がん研究機関)のランク[1;2A;2B]物質の有無: 該当物質なし

12. 環境影響情報

生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

自社で排水処理装置を所有していない場合は、全量回収の上産業廃棄物処理業の許可を受けた業者に、産業廃棄物管理票(ﾏﾆﾌｪｽﾄ)を添えて、処理を委託する。 本製品を未使用のまま廃棄する場合は(または使用途中で容器内の処理薬品を廃棄する場合)、特別管理産業廃棄物に該当する。処理を委託する場合は、特別管理産業廃棄物処分業の許可を受けた業者へ産業廃棄物管理票(マニフェスト)を添えて依頼する。
廃棄時に該当する法規【廃棄物処理法　:特別管理産業廃棄物(廃油)、水質汚濁防止法:生活環境項目、下水道法:下水の排除の制限】

14. 輸送上の注意

船舶輸送は、危規則の規定による。 航空輸送は、IATA規則の規定による。
---------- 海上輸送もしくは航空輸送を行う場合は以下の情報を輸送会社にお渡し下さい。 ----------

国際規制

Marine Transportation

Class or Division:	3, Flammable Liquid
UN-No.:	UN1210
Proper Shipping Name:	PRINTING INK RELATED MATERIAL, flammable
Packing Group:	III
Packing Instructions:	P001
EmS (Emergency Schedule):	F-E, S-D

IMDG

Air Transportation

Class or Division:	3, Flammable Liquid
UN-No.:	UN1210
Proper Shipping Name:	PRINTING INK RELATED MATERIAL, flammable
Packing Group:	III
Passenger and Cargo Aircraft:	Packaging Instruction 355 Max 60 L
Cargo Aircraft Only:	Packaging Instruction 366 Max 220 L

IATA

緊急時応急措置指針番号　129

15. 適用法令

化審法

第一種　特定化学物質:	該当しない
第二種　特定化学物質:	該当しない
監視化学物質:	該当しない
優先評価化学物質:	該当しない

労働安全衛生法

危険性物質　引火性	引火性液体
危険性物質　引火性ガス	該当しない
危険性物質　酸化性	該当しない
危険性物質　爆発性	該当しない
危険性物質　発火性	該当しない
有害性物質　発がん性	該当しない
特化則　第一類:	該当しない
特化則　第二類:	該当しない
特化則　第三類:	該当しない
有機則　第一類:	該当しない
有機則　第二類:	該当しない
有機則　第三類:	石油ナフサ
通知対象物質:	石油ナフサ【No.330】
表示対象物質:	該当しない
その他:	該当しない

毒物及び劇物取締法

法　特定毒物:	該当しない
施行令　特定毒物:	該当しない
法　毒物:	該当しない
施行令　毒物:	該当しない
法　劇物:	該当しない
施行令　劇物:	該当しない
施行令32条2 興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する物:	該当しない
施行令32条3 発火性又は爆発性のある劇物:	該当しない
毒物除外:	該当しない
劇物除外:	該当しない
施行令　製剤:	

消防法

第1類　酸化性固体:	該当しない
第2類　可燃性固体:	該当しない
第3類　自然発火性物質及び禁水性物質:	該当しない
第4類　引火性液体:	第4類第2石油類(非水溶性)
第5類　自己反応性物質:	該当しない
第6類　酸化性液体:	該当しない
指定可燃物:	該当しない
貯蔵量記録:	該当しない

化学物質管理促進法(PRTR法)

特定第一種指定物質	該当しない

第一種指定化学物質:	該当しない
第二種指定化学物質:	該当しない
船舶安全法	引火性液体(クラス3)
航空法	引火性液体(クラス3)
海洋汚染防止法	該当しない
高圧ガス保安法	該当しない
火薬類取締法	該当しない

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価について完全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。注意事項は当製品についての通常の取り扱いを対象にしたものであって、それ以外については、ご使用者の責任において安全対策を実施の上お取り扱い願います。本SDSの作成には製造会社のFUJIFILM Speciality Ink Systems Limited社のSDSを参考情報として用いています。本SDSに記載のGHSラベル要素は、実際の製品には表示されない場合があります。
尚、弊社ホームページ(http://www.fujifilm.co.jp/msds)に最新版の製品安全データシートを掲載しています。

作成部門:富士フイルム㈱ CSR推進部　環境・品質マネジメント部